

英賀城(岩繫城)(姫路市飾磨区英賀宮町)(英賀城跡公園, 英賀神社)

英賀城(あがじょう)は、播磨国英賀(兵庫県姫路市飾磨区英賀宮町)にあった城郭。別所氏の三木城、小寺氏の御着城と並び播磨三大城と称された。

概要

東は水尾川、西は夢前川、南は播磨灘に囲まれた地に築かれた^[1]。本丸にあたる英賀神社本殿裏に残る土塁以外の遺構は住宅地などになって残っていない。石碑・案内板・模擬石垣がある。

歴史

永享年間初期、赤松祐尚によって築城され、戦国末期、赤松氏以降は三木氏に支配が移る。1577年(天正5年)、織田信長は中国攻めを開始すると、羽柴秀吉に命じて播磨国へ侵攻。1578年(天正6年)、別所長治の三木城落城に続き三木通秋が籠もる英賀城も1580年(天正8年)に落城した。

Wikipediaによる

